

地元伝統芸能(石見神楽)の継承

～高校生の神楽甲子園への参加～

島根県立矢上高等学校

島根県西部の石見地方には古くから伝わる伝統芸能「石見神楽」があります。その特徴は、人の心に語り掛ける独特の笛の音や自然と体が動き出すような太鼓囃子に合わせて、豪華絢爛な衣裳や表情豊かな面をつけて日本神話などを題材に舞うところです。昔から地域の娯楽として祭りの前夜祭などで演じられてきました。矢上高校「神楽愛好会」はそんな「石見神楽」に魅せられ県内外から集まった生徒が、地元の神楽団の協力を得ながら練習・習得し学園祭や地域のイベントで披露しています。



神楽甲子園で披露した「子持山姥」戦いのシーン



豪華絢爛な衣装を身に付けた華やかな舞

足立美術館見学

～安来市への愛着を醸成させる～

島根県立安来高等学校

毎年、安来高等学校では3年生が卒業前の時期に足立美術館より無料招待を受けています。今年度も令和7年1月29日に3年生全員で庭園や日本画を堪能しました。進学のため、半数以上が4月以降に地元を離れますが、学び舎を巣立つ前にふるさとにある世界に誇れる施設を見学することで、母校は勿論、安来市への愛着を醸成させることができると期待されています。



第74回総会・研究協議会鳥取・島根大会の際の教育視察研修でも多数の参加者のみなさまに鑑賞していただきました。